令和７年度長久手市行政評価票（Ａ票：事業評価票）

対象年度	令和６年度				
事業番号	16	事業名	男女共同参画推進事業	担当課	観光商工課
				予算区分（款-項-目-中事業）	2-1-9-3　男女共同参画推進事業
			（中事業名）　男女共同参画推進事業	決算書ページ	69 ～ 70　一般

Ⅰ 基本情報

総合計画	基本目標	1	「やってみたい」でつながるまち
	政策	2	「やってみたい」が実現できる仕組みづくり
	施策	(3)	誰もが活躍できる地域づくり
その他	開始年度	平成１５年度	
	終了予定年度	年度 ☑ 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性：
	根拠法令等	長久手市の男女共同参画を推進する条例	
	関連計画	長久手市男女共同参画基本計画	

事業の概要・目的

①事業概要（どんな取組を行うのか）	アウトプット（詳細はⅡへ）②活動指標（取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか）	アウトカム（詳細はⅢへ）③中間成果（①【対象】がどのような状態に変わるのか）	④最終成果（大事業の将来像）
【対象】 ☑ 市民　☐ 事業者 ☐ 職員　☐ その他 対象の数：　約60,000人 【事業内容】 あらゆる分野で性別にかかわらず誰もが活躍できる社会を目指し、理解促進・啓発活動を行います。	【アクションプラン指標】 男女共同参画推進に係る啓発事業の件数【累計】 【その他の指標】	男女が性別に関わらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会であると感じる人の割合が増える。 （成果指標名） 地域において男女が平等だと考えている人の割合	大事業共通 家庭や、職業生活、地域社会における男女共同参画の意識啓発や女性の社会参画が促進されるまちになる。

Ⅱ　活動状況（アウトプットの詳細）

活動指標

	活動指標名	単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度
1	【アクションプラン指標】 男女共同参画推進に係る啓発事業の件数【累計】	件	基準値	8	目標値	8	16	24	32	40
			目標値	40	実績	9				
2			基準値		目標値					
			目標値		実績					
3			基準値		目標値					
			目標値		実績					
4			基準値		目標値					
			目標値		実績					

エピソード

事業開始の背景	平成15年3月に長久手町（市）男女共同参画プランを策定し、事業を実施してきた。平成21年4月には長久手町（市）の男女共同参画を推進する条例が施行され、市の活性化に向けた男女共同参画の取組を推進している。

各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由

R6	令和６年度は、第４次男女共同参画基本計画の計画期間の１年目で、以下の啓発事業に取り組んだ。 男女共同参画週間の取組、男女共同参画月間の取組（２事業）、男女共同参画推進部会、女性活躍推進の取組（２事業）、男女共同参画出前講座、パートナーシップ・ファミリーシップ制度の取組、市内大学が実施する事業協力	R7	
R8		R9	

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）

成果指標（CHECK）

成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	H30 年度	R5 年度	【現状】 R6 年度	R9 年度	年度
地域において男女が平等だと考えている人の割合	%	37.7	38.5	-	40	

成果達成状況：C

A.想定より良い　B.想定どおり　C.どちらともいえない　D.想定を下回っている

評価の理由、分析

成果指標は、計画を策定する際に実施する市民意識調査の結果を指標としているため、令和６年度は数値として出すことができない。ただ、令和６年度は、男女共同参画に係る啓発事業をアクションプランの目標より多く実施することができたことから、市民への啓発はできていると思われる。

指標目標値の根拠

次期計画策定時に実施する、市民意識調査

加える変化（ACTION）

今後の方向性：C

A.拡充　B.現状維持　C.縮小　D.廃止

今後の方向性の理由

第４次男女共同参画基本計画の目標達成に向かって事業を進めるが、事業の効果が発揮されないものについては、事業の縮小や廃止を検討する。

改善ポイント

（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）

	見直しの余地のある取組名	見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容	見直し可能年度
1	男女協働参画に関する啓発事業	☐拡充 ☑改善 ☐縮小 ☐廃止	令和６年度は、標語・川柳の募集や情報紙の発行を廃止した。今後も事業効果を考えながら各事業のあり方を検討する。	
2		☐拡充 ☐改善 ☐縮小 ☐廃止		
3		☐拡充 ☐改善 ☐縮小 ☐廃止		

Ⅳ 費用

令和8年度予算の方向性（PLAN）

R8年度の費用（R7年度比）	
B	A.拡充　B.現状維持 C.縮小　D.廃止

理由

令和７年度予算作成時に、事業内容を見直す事で事業全体の費用を削減したため、まずはこの予算規模での事業効果を検証したい。

積算額

令和７年度と同水準

3年間の推移

（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		予算	決算	予算	決算	予算
事業費		2,344	1,770	503	137	388
特定財源	合計額	0	0	0	0	0
	（内　国費）	0	0	0	0	0
	（内　県費）	0	0	0	0	0
	（内　諸収入）	0	0	0	0	0
	（内　その他）	0	0	0	0	0
一般財源		2,344	1,770	503	137	388

R7年度予算の内訳　＜細々節名、　予算額、（R6年度予算額）＞

男女共同参画講座講師報償金 140千円（20千円）
男女共同参画啓発事業会場使用料 18千円（0千円）
普通旅費 10千円（0千円）
食糧費 3千円（0千円）
男女共同参画講演会講師報償金 0千円（0千円）
男女共同参画標語・川柳入選者報償金 0千円（5千円）
男女共同参画啓発出前講座講師報償金 0千円（20千円）
消耗品費 21千円（41千円）
男女共同参画推進部会講師報償金 0千円（40千円）
情報紙作成協力者報償金 0千円（50千円）
印刷製本費 50千円（108千円）
男女共同参画審議会委員報酬 146千円（219千円）